

大阪体育学会 企画委員会 研究方法セミナーのご案内
テーマ 「新しい生活様式に対応する遠隔での体育授業への模索」

新型コロナウイルスにより緊急事態宣言が発令されて以降、児童・生徒・学生の安全・健康を第一に考え、学校の臨時休校の措置を取らざるを得ない状況にあります。スポーツ界も各種大会が一斉に中止となり、スポーツに携わる方々は、無力感に捕らわれているのではないのでしょうか。こうした自粛活動により、子どもを含めて大人も体力不足が懸念され、NHKの「みんなの筋肉体操」のように家庭での身体活動もSNSを通じて配信され、Stay homeを推進する取り組みが多くなりました。

大学では、いち早くネット環境の整備に着手し、同時双方型、課題提示型、オンデマンド型の遠隔授業への対応が始まっています。NHKの「みんなの筋肉体操」のように、個人の身体活動の取り組みにより筋力や持久力は向上できるものと思われます。しかし、球技のように「仲間との協力」による取り組みの工夫は、遠隔型の限界かもしれません。

一方、5月末もしくは、6月初めには全国的に対面授業も再開される可能性も出てきました。同時に政府の感染対策の基本方針である密閉、密集、密接の「三密」を中心に、新しい生活様式も提示されました。この方針を可能な限り遵守して体育授業を行うには、集団球技や格闘技のように、密集、密接(ソーシャルディスタンス)の要素の回避が問題となります。さらに、これから高温多湿を迎える環境下での「マスクの着用」下での身体運動も課題となります。

そこで、大阪体育学会としては、今回のこれまで誰も経験をしたことのない状況下で、いち早く遠隔によるスポーツ指導や体育授業に対応した事例を紹介する、オンラインによる体育授業の研究会「**新しい生活様式に対応する遠隔での体育授業への模索**」を下記の方法で紹介したいと考えています。

つきましては、多くの視聴者とともに今回の事例を通じて、これからの新しい生活様式にも対応できる、体育・スポーツ活動の在り方を考えるきっかけになれば存じます。

記

日時	6月13日(土) 16時～
方 法	zoomによる研究方法セミナーの開催
参加者	大阪体育学会会員 事前申し込み者へのzoom招待状配信
発表者(案)	授業での活用 a. ダンス、オンラインによる仲間と協力したダンス 大阪体育大学准教授 白井 麻子 先生 b. オンラインによる教員養成の体育授業教材づくり 鹿児島大学教育学部 講師 中島友樹 先生 c. 小学校現場でのオンライン体育授業の取り組み 和歌山大学附属小学校 教諭 則藤 一起 先生

申込方法 6月6日(土)までに下記のアドレスにて申し込みください。
確認後、zoom ミーティングの招待状を送付させていただきます。
大阪体育学会企画委員会 委員長 灘本雅一

申込先 nadamoto@andrew-edu.ac.jp